

TOTO

洗面所用サーモスタット混合栓

TL395型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)





取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制内容」です。

注意	
	湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
	給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 (寒冷地用)
	修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅洗面所用

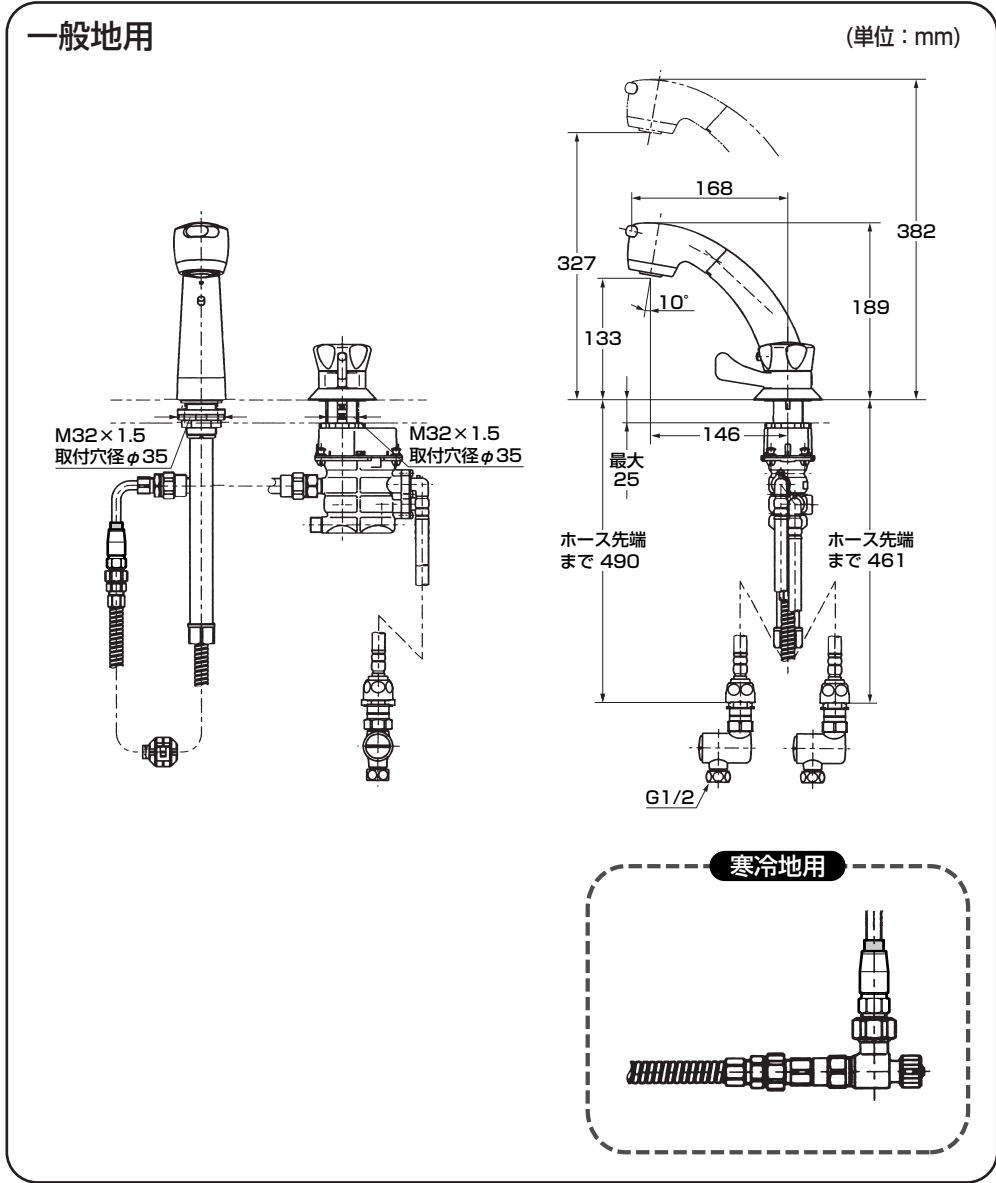
3 取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の圧力をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

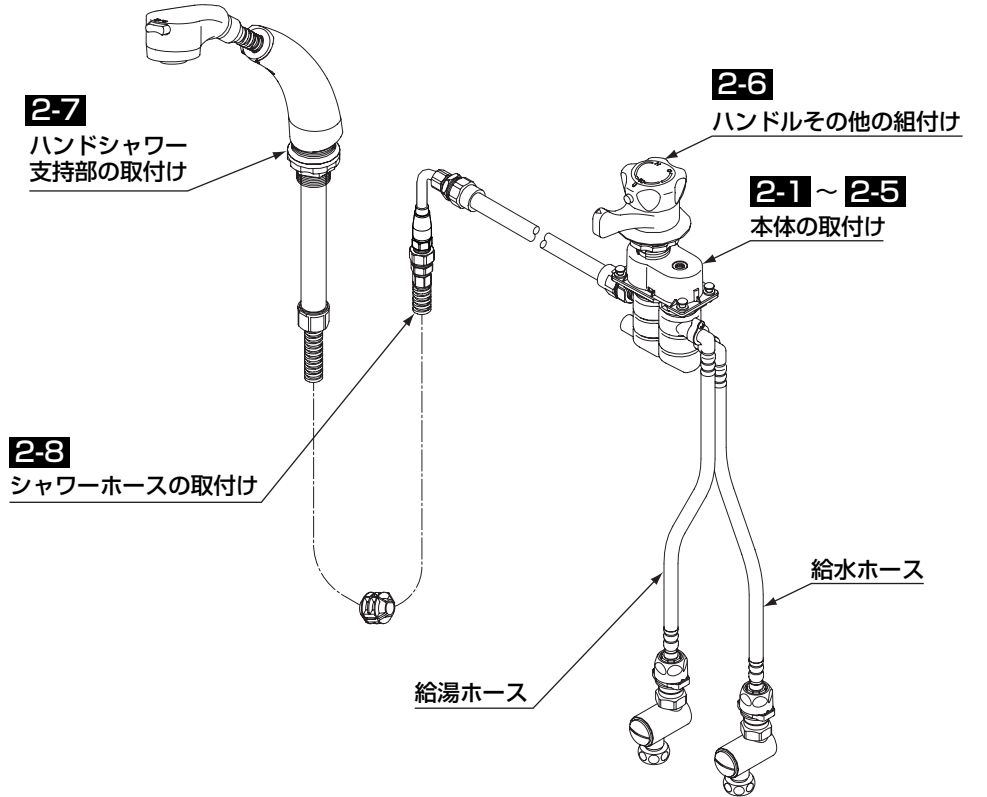
	名称	数量
1	取扱説明書  必ずお客様にお渡しください	1冊
2	ストッパー 	1個
3	ワンタッチソケット 	2個
4	水抜コック(寒冷地のみ) 	1個
5	開閉工具  必ずお客様にお渡しください	1個

5 完成図



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

6-1 施工手順

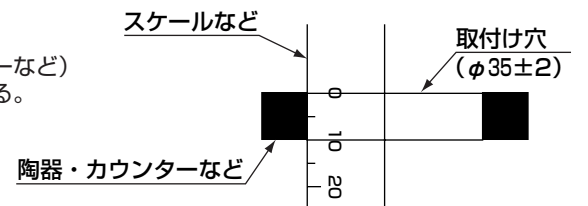


1 給水管内の清掃

器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

2-1 本体の取付け

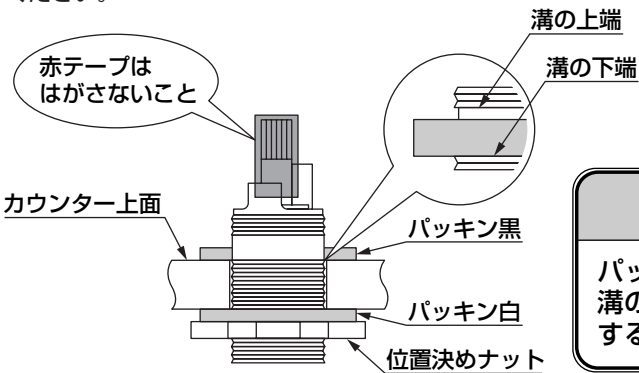
取付け側の厚みを測定
まず取付け側（陶器・カウンターなど）
の厚みをスケールなどで計測する。



6-2

2-2 位置決めナットの位置を決める

位置決めナットの上端を水栓本体の溝の下端から測定した厚み分下げた位置に合わせてください。

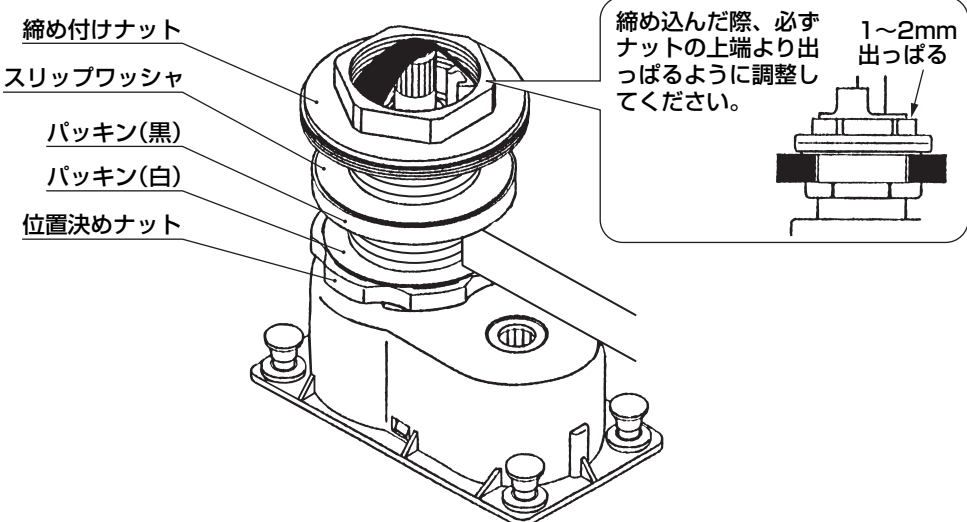


注意

パッキン黒は、水栓本体の溝の下端と上端の間に挿入するようにしてください。

※水栓本体の取付穴周囲の汚れを取る。

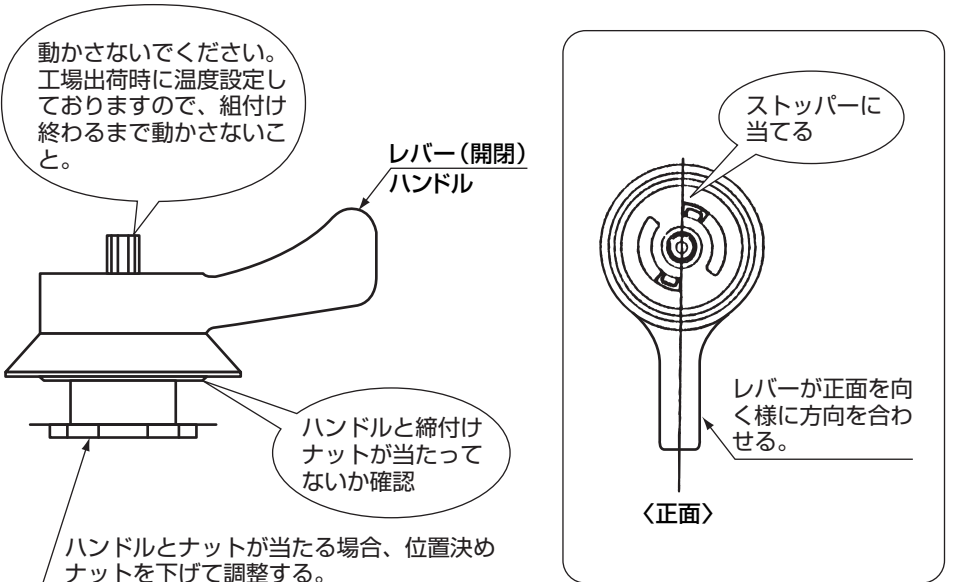
2-3 仮締めする



パッキンと本体のすき間があると取付け面より下に水が漏れることがあります。すき間を無くしてください。

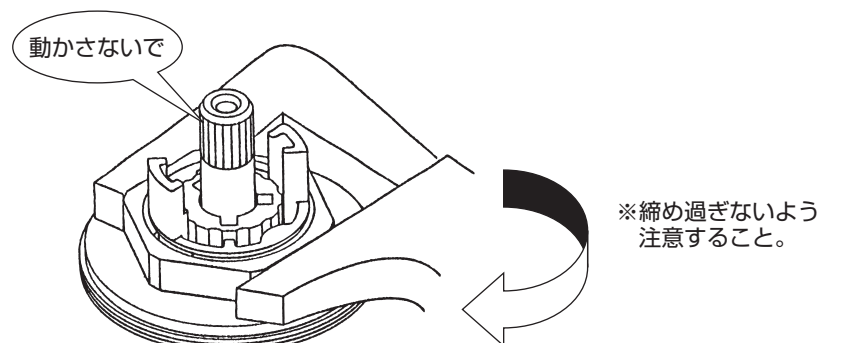
6-3

2-4 レバー（開閉）ハンドルを仮組みしてレバーの向き、位置決めナットを微調整する。（赤テープをはがす）



2-5 レバー（開閉）ハンドルを外し本締めする

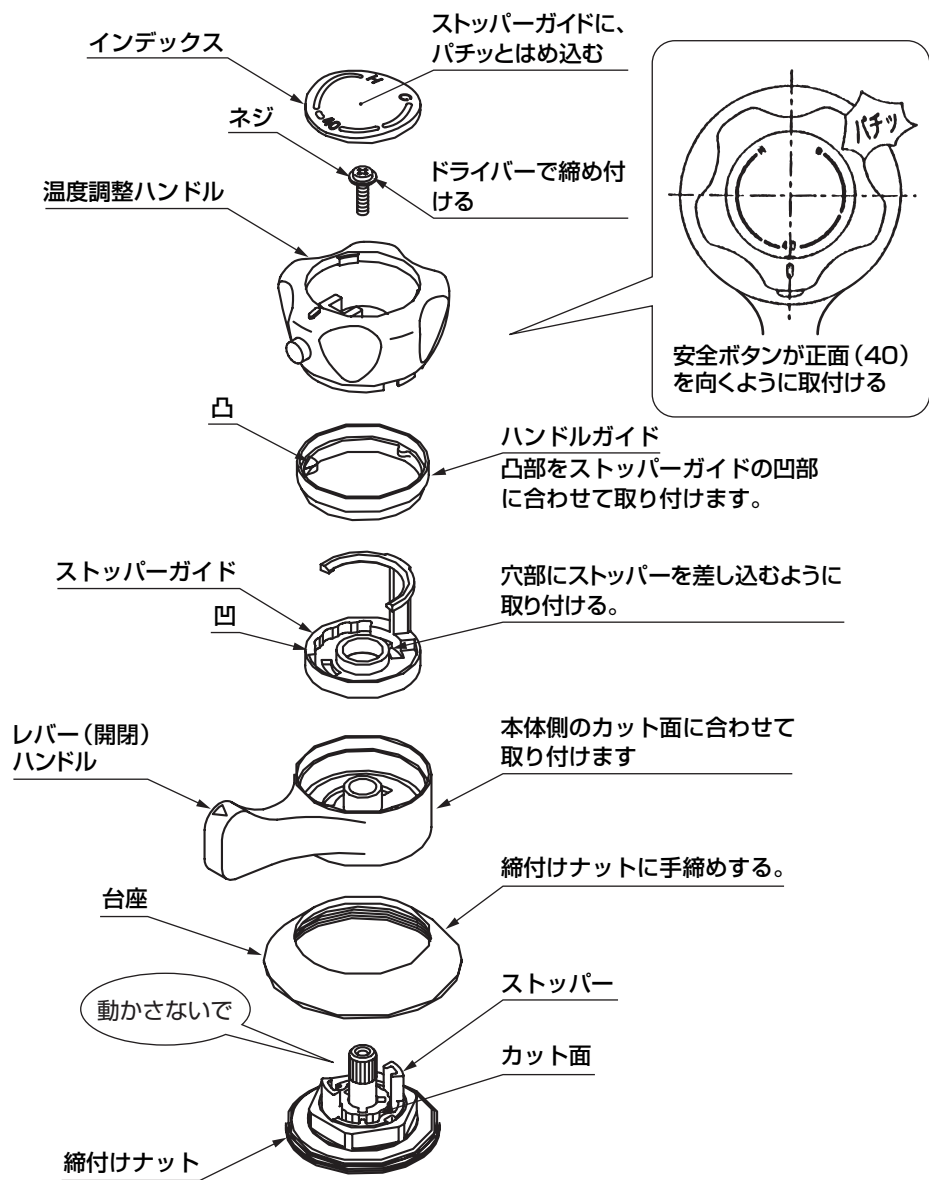
本体が共回りしないように注意して締め付けること。



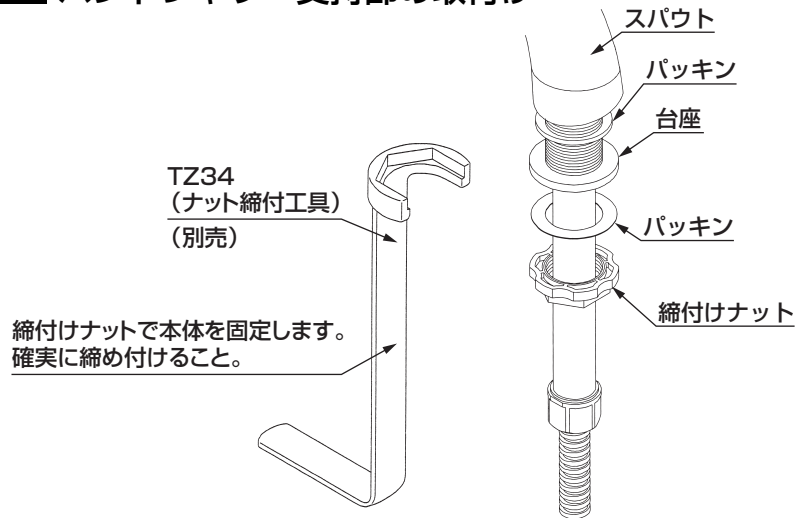
※本体が回転してしまった場合は本体を回転させて、位置を戻す。

裏面へつづく

2-6 ハンドルその他の組付け



2-7 ハンドシャワー支持部の取付け



2-8 シャワーホースの取付け

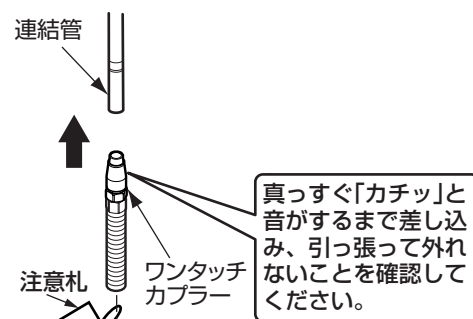
一般地用の場合

ワンタッチカブラーを連結管に「カチッ」と音がして、それ以上差し込めなくなるまで真っすぐ差し込む。

注意

異物の付着がないことを確認してください。

この際、同梱の「シャワーホース・ワンタッチカブラー」の注意札を必ずシャワーホースに通してください。



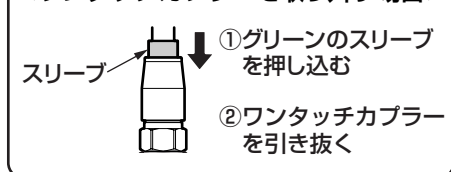
取り付け後の確認

重要

- グリーンのスリーブが5mm程度出ていること
- 奥まで確実に差し込まれているか再確認すること

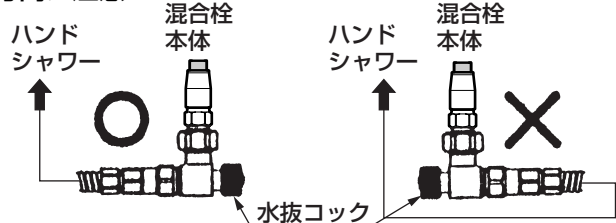


＜ワンタッチカブラーを取り外す場合＞



寒冷地用の場合

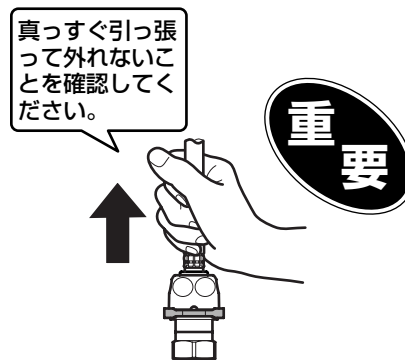
水抜コックの取付け方向に注意



※水抜コックにシャワーホースを締め付けた後ワンタッチカブラーを、接続管に押し込むこと。シャワーホースが、水受けトレイに納まらなくなります。

- ③ ホースを真っすぐ引っ張って外れない(抜けない)ことを必ず確認する。

施工後、万が一ホースを外した場合は、「ワンタッチソケット」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。



2-9 給水・給湯ホースの接続

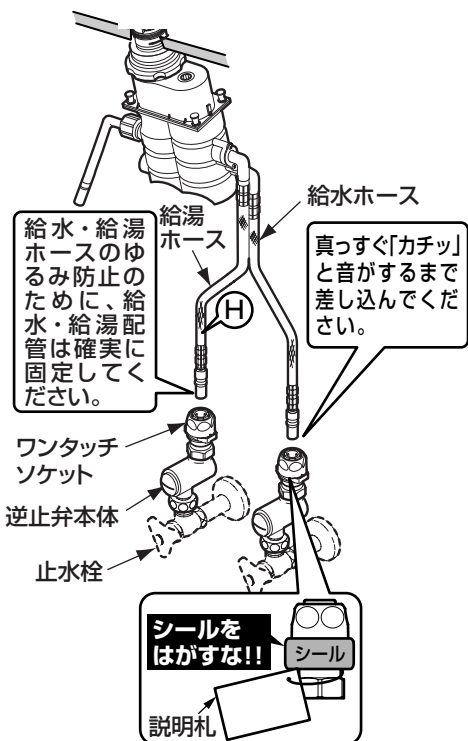
- ① ワンタッチソケットおよび逆止弁本体を止水栓に固定する。

注意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けてください。そのままでもホースを差し込めます。

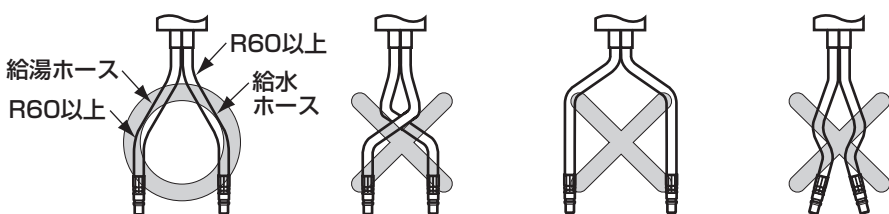
- ② 給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットに真っすぐ奥まで(「カチッ」と音がするまで)確実に差し込む。確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

この際、同梱の「ワンタッチソケット」の説明札を必ずワンタッチソケットまたは止水栓につり下げてください。



給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



7 取付け後の確認と調整

取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

1. 水漏れの確認

止水栓を開き、給水・給湯ホースやシャワーホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

2. フィルターの掃除

フィルターが詰まると吐水量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。
器具取付け後は⑧フィルターの掃除をご参照になり、必ずフィルターを掃除してください。又、お客様にも時々掃除していただくようご指導ください。

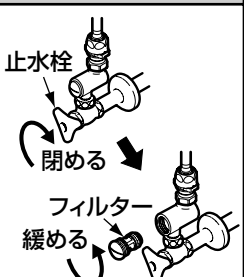
3. 温度確認及び調節

工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって目盛りどおりの水（湯）温にならない場合があります。
その場合は「取扱説明書」の温度調節の仕方をご参照になり、温度調節を行ってください。

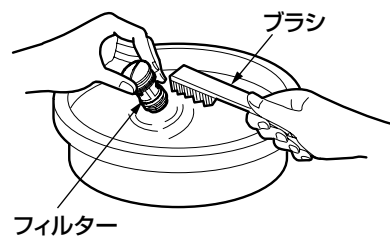
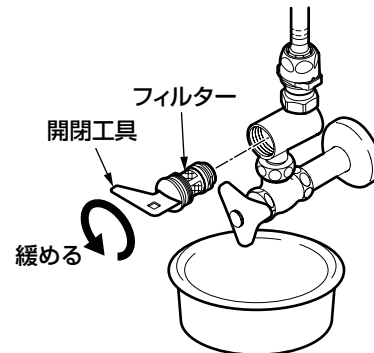
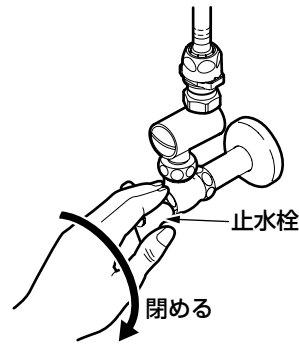
8-1 フィルターの掃除

⚠ 注意

必ず実行 フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターを取り外さずに、止水栓を閉めてから行ってください。また、フィルター取付部が熱くないことを確認してください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



8-2



1. 湯側・水側の止水栓を閉める。

2. 開閉工具を溝に差し込み、フィルターを緩めて取り出す。

※フィルターは湯側・水側の2カ所にあります。

3. 網に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。

4. 掃除が終わったらフィルターを元の通りに組み付ける。

5. 湯側・水側の止水栓を調節しながら開ける。

9 寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

⚠ 注意

必ず実行 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

禁止 水抜コックは、水抜き以外の目的では開けないでください。
水抜コックをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、温水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

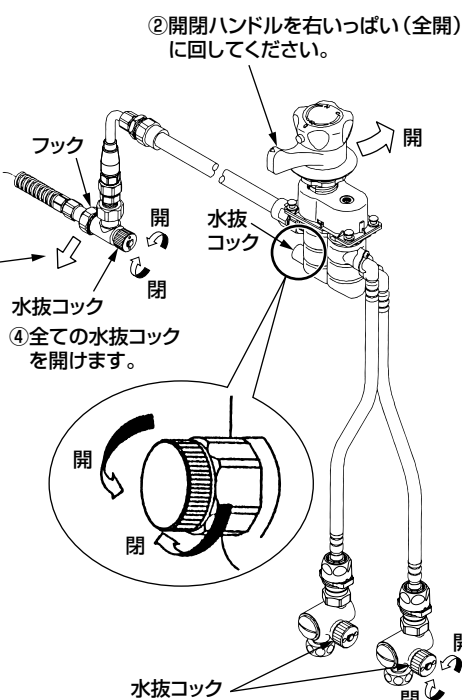
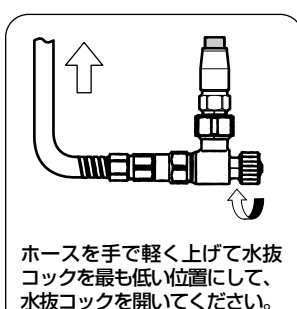
解氷機をご使用の場合、水栓には絶対通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

下記の手順にしたがって、水抜きをしてください。

水抜き方法

① ハンドシャワーをストップするまで引き出してください。
水抜きの際、ハンドシャワーを振ると中の水が抜けやすくなります。

③ フックを矢印の方向に引張って取り外します。
※水抜き後、フックを必ず元の様に取り付けてください。



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。